

宗教法人世界平和統一家庭連合
代表役員 田中 富廣 様

多摩市議会議長 三階 道雄

宗教法人世界平和統一家庭連合所有地における新たな施設建設の計画について、「当面見合わせ」ではなく、「白紙撤回」することを求める申し入れ

去る 1 0 月 6 日、私ども多摩市議会から、宗教法人世界平和統一家庭連合（以下「貴法人」という。）に対し、「宗教法人法に基づく解散命令がなされないことが確定するまでの間、多摩市永山七丁目 2 - 1, 2, 3 に所在する貴法人所有の約 6, 3 0 0 m²の土地（以下「本件土地」という。）において、新たな造成や建物の建築を行うことのないよう強く申し入れる」ことを内容とする「宗教法人世界平和統一家庭連合所有地に関する申し入れ」をさせていただきました。

これに対して、貴法人から 1 0 月 3 0 日付けで、「当法人建設予定地に関する申し入れへのご回答」をいただきました。

数次にわたる多数の市民の建設反対の署名の提出、政府による解散命令請求など、貴法人を取り巻く諸般の情勢からすれば、至極当然のことではありますが、その回答の中で貴法人は、「昨今の当法人を取り巻く情勢に鑑み、現在の建物の解体は終了させ、その後、新しく建物を建築することに関しましては当面の間見合わせたい」との意向を表明しました。

しかし、同時に「状況の変化に伴い、建設計画を再開する際は別途ご連絡申し上げます。」とも表明しています。

本市議会としては、この「状況の変化に伴い、建設計画を再開する」ことを現時点で表明するような回答は、到底承服できるものではありません。

市民からの建設反対の署名の提出、政府による解散命令請求などの経過を踏まえ、本件土地における、新たな施設の建設計画そのものを白紙に戻すことを強く求めるものです。